【学校教育目標】　磨き　輝き　未来をともに拓く朝日の子の育成

朝日っ子

長崎市立朝日小学校
学校便り　第37号
令和７年２月14日
校 長　米 村 郁 子

先週は寒波が殊の外長く居座り寒い日が続きましたが、子どもたちは滅多にできない雪遊びを楽しむことができました。大人にとっては通勤等が大変なため迷惑な雪ですが、子どもたちはもっとたくさんの雪が降ってほしいと思っていたようです。

さて、３学期も残りの日々が少なくなってきました。各教室では、授業参観に向けて発表の準備が進められています。ご多用の折とは存じますが、是非ご参観ください。

青少年読書感想文全国コンクール入賞！

第70回青少年読書感想文全国コンクールにおいて、２年生の〇〇〇〇さんが奨励賞を受賞し、２月６日（木）の毎日新聞に掲載されました。コンクールのかなり上位の賞で、県内からは小学生１名、中学生１名が選ばれています。〇〇さんは、夏休みに「みずとはなんじゃ？」（かこさとし作、鈴木まもる絵、小峰書店）という本を読み、下の感想文を書きました。日頃感じたことや丸中校区育成協クリーン作戦に参加した経験を思い出しながら素直な気持ちを表現していてとても感心しました。

「みずとはなんじゃ？」
〇〇〇　〇〇

本やさんで「みずとはなんじゃ？」と書かれたタイトルを見て「たしかになんじゃ？」と気になって読んでみることにしました。

みずのせいしつについておしえてくれる本です。この本を読んで一ばんびっくりしたことは、もしみずがなかったらおひるはたいようのひかりとねつでじめんが125どのあつさになるし、よるはちきゅうがぐんぐんひえてれいか170どにもなってしまうことです。おにわでプールあそびをしたあとプールのみずをにわじゅうにかけてまわるとあつかったじめんがひやされてすずしい風がふき、とっても気もちよかったことを思い出しました。みずが水じょう気になってたくさんのねつをうばってくれてたからだったんだなと思いました。わたしがのほほんとごはんを食べたり、あそんだり、ねたりしている間もみずはわたしたちをまもってくれていたと知って「みずさん、ありがとう。今まで気にしてなくてごめんなさい。」と思わず手をあわせてしまいました。

とってもざんねんなこともあります。海や川がよごれてせっかっくのみずのはたらきがわるくなってしまってちきゅうの生ぶつがしんでしまっているそうです。わたしのすんでいる長さきは海にかこまれた町です。お日さまにてらされてほうせきみたいにキラキラとかがやくきれいな海を見るのがわたしは大すきです。でも、一年生の時に海がんぞいのゴミをあつめるボランティアにさんかした時、タバコやペットボトル、ビニールなど大きなゴミぶくろいっぱいのゴミがいくつもあつまりました。大すきなキラキラした海がこんなによごれていると知ってとってもかなしくなりました。わたしはこれからもゴミひろいをつづけてきれいな海をまもります。

今、みずとはなんじゃ？と聞かれたら、みずはちきゅうのみんなでまもらないといけない大せつなものだよとつたえていきたいです。

お知らせ

12月に、運営委員会の子どもたちが「赤い羽根共同募金」を呼びかけたところ、たくさんの子どもたちから募金があり、全部で6,852円が集まりました。募金は運営委員会担当職員が12月中に振り込みを済ませました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

意志あるお金、募金のチカラ。
赤い羽根共同募金